

14. 当院におけるリハビリテーションの現状と課題

医療法人社団聖心会 阪本病院整形外科¹，同 リハ科²

○阪本 ^{さかもと}一樹^{かずき}¹，藤井 保貴²

【はじめに】

当院は医師数 26 名（常勤 10 名）年間救急搬送者数 316 名、手術件数 943 件の一般病床 52 床・医療療養病床 56 床の病院である。昨年 4 月から 1 年間の受診者を対象としてリハビリテーションを中心に地域における当院の役割、課題を検討した。

当院の役割と課題について、症例も呈示し、報告し、更に地域連携の目的で、昨年 9 月に第 1 回大川地区地域リハビリテーション支援センター合同研修会を開催したのでその内容を報告する。

【結果】

当院のリハビリスタッフは PT29 名、OT9 名、ST3 名、講習会受講済マッサージ師 4 名である。1 日あたり入院患者数 102 名、外来患者数は 220 名であり、1 日当たりのリハビリテーション実施単位数は以下の通りであった。脳血管リハは入院 94.5 単位、外来 32.1 単位であり、運動器リハは入院のうちⅠが 68.1 単位、Ⅱが 13.0 単位、外来が 155.0 単位であった。呼吸器リハは入院 3.1 単位、外来 0.8 単位であった。介護保険では、通所リハ 39.0 名、介護予防通所リハ 5.5 名で訪問リハは 52.3 単位を実施していた。地域における活動として、地域リハビリテーション協議会に医師・PT が参加し、同支援センター事業として、主に転倒防止をテーマとした健康教室を PT が実施している。又、5 校の PT・OT 養成校から実習生を受け入れている。

【まとめ】

来年の医療・介護保険の同時改訂により、リハビリは大幅な変更が見込まれている。今後、限られた財源の中で、予防・急性期・回復期・維持期リハを地域の中でいかに有効に活用するかを十分に検討しなければならない。その中で、